

# 貸借対照表

令和 6年 3月31日現在

公益財団法人 韓国教育財団

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	22,861,155	19,576,578	3,284,577
未収金	2,380,000	570,000	1,810,000
流動資産合計	25,241,155	20,146,578	5,094,577
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	433,886,960	433,886,960	0
建物	307,672,979	320,037,992	▲ 12,365,013
建物付属設備	1,951,478	764,137	1,187,341
器具備品	1,609,834	1,041,946	567,888
賃貸住宅維持資産	155,451,828	155,451,828	0
定期預金	348,648,022	348,648,022	0
基本財産合計	1,249,221,101	1,259,830,885	▲ 10,609,784
(2) 特定資産			
碧峰奨学金資産	35,160,000	36,160,000	▲ 1,000,000
特定資産合計	35,160,000	36,160,000	▲ 1,000,000
(3) その他固定資産			
敷金	2,000,000	2,000,000	0
長期前払費用	72,930	291,720	▲ 218,790
その他固定資産合計	2,072,930	2,291,720	▲ 218,790
固定資産合計	1,286,454,031	1,298,282,605	▲ 11,828,574
資産合計	1,311,695,186	1,318,429,183	▲ 6,733,997
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
前受金	4,029,930	3,980,830	49,100
預り金	510,199	346,697	163,502
未払法人税等	70,000	70,000	0
流動負債合計	4,610,129	4,397,527	212,602
2. 固定負債			
預り敷金	5,691,000	6,194,500	▲ 503,500
退職給付引当金	10,341,383	9,851,601	489,782
固定負債合計	16,032,383	16,046,101	▲ 13,718
負債合計	20,642,512	20,443,628	198,884
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	35,160,000	36,160,000	▲ 1,000,000
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	1,255,892,674	1,261,825,555	▲ 5,932,881
正味財産合計	1,249,221,101	1,259,830,885	▲ 10,609,784
負債及び正味財産合計	1,291,052,674	1,297,985,555	▲ 6,932,881
負債及び正味財産合計	1,311,695,186	1,318,429,183	▲ 6,733,997

# 正味財産増減計算書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

公益財団法人 韓国教育財団

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	55,444,657	56,237,935	△ 793,278
基本財産受取利息	388,649	673,950	△ 285,301
基本財産受取賃貸料	54,509,790	55,352,092	△ 842,302
基本財産受取退送料	546,218	211,893	334,325
受取寄付金	63,518,900	41,648,850	21,870,050
受取一般寄付金	27,984,000	4,418,000	23,566,000
受取団体寄附金	0	874,000	△ 874,000
韓国政府寄附金	24,534,900	21,356,850	3,178,050
受取寄附金振替額	11,000,000	15,000,000	△ 4,000,000
雑収益	564	569	△ 5
受取利息	564	569	△ 5
経常収益計	118,964,121	97,887,354	21,076,767
(2) 経常費用			
事業費	122,240,438	109,715,591	12,524,847
賃貸住宅支払手数料	1,026,600	1,290,300	△ 263,700
住宅管理一代行手数料	1,026,600	1,290,300	△ 263,700
賃貸住宅支払保険料	491,320	472,260	19,060
賃貸住宅修繕費	2,408,250	2,673,855	△ 265,605
奨学金	48,800,000	52,520,000	△ 3,720,000
高校生奨学金	1,800,000	2,520,000	△ 720,000
大学生奨学金	30,000,000	32,000,000	△ 2,000,000
大学院生奨学金	6,000,000	3,000,000	3,000,000
碧峯奨学金	11,000,000	15,000,000	△ 4,000,000
韓国語弁論大会支援金	700,000	700,000	0
在日韓国人教育研究大会後援金	700,000	700,000	0
給料手当	6,634,929	6,615,603	19,326
福利厚生費	1,015,399	1,013,119	2,280
会議費	86,410	73,485	12,925
旅費交通費	986,621	180,617	806,004
事務消耗品費	18,009	1,385,185	△ 1,367,176
印刷費	2,111,324	0	2,111,324
手数料	1,571,349	1,475,748	95,601
一般	1,002,363	174,602	827,761
税理士・司法書士等報酬	360,504	1,124,772	△ 764,268
複合機リース料・カウンター料	208,482	176,374	32,108
広告費	2,961,020	0	2,961,020
通信運搬費	1,862,150	129,112	1,733,038
電話代	84,836	92,885	△ 8,049
郵便料金	1,777,314	36,227	1,741,087
水道光熱費	242,977	256,995	△ 14,018
什器備品費	1,779,059	0	1,779,059
賃借料	4,649,288	4,128,620	520,668
渉外費	144,320	66,246	78,074
諸雑費	15,339,116	5,500,999	9,838,117
減価償却費	13,021,700	13,002,701	18,999
賃貸住宅管理費	11,479,762	11,847,309	△ 367,547
賃貸住宅銀行手数料	178,420	120,560	57,860
諸税金	3,616,100	3,583,000	33,100
退職給付費用	416,315	453,414	△ 37,099
韓国語能力試験運営費	0	1,526,463	△ 1,526,463
管理費	2,586,564	3,515,584	△ 929,020
給料手当	1,193,733	1,167,459	26,274
退職給付費用	73,467	80,014	△ 6,547
福利厚生費	156,301	178,785	△ 22,484
会議費	13,341	12,967	374
旅費交通費	14,029	31,873	△ 17,844
通信運搬費	21,349	16,705	4,644
事務消耗品費	947	72,902	△ 71,955
手数料	223,554	210,194	13,360
水道光熱費	40,961	45,347	△ 4,386
賃借料	820,462	728,579	91,883
渉外費	3,000	0	3,000
諸雑費	25,420	970,759	△ 945,339
経常費用計	124,827,002	113,231,175	11,595,827
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,862,881	△ 15,343,821	9,480,940
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 5,862,881	△ 15,343,821	9,480,940
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
退職給付費用	0	9,318,173	△ 9,318,173
法人税・住民税・事業税	70,000	70,000	0
経常外費用計	70,000	9,388,173	△ 9,318,173
当期経常外増減額	△ 70,000	△ 9,388,173	9,318,173
当期一般正味財産増減額	△ 5,932,881	△ 24,731,994	18,799,113
一般正味財産期首残高	1,261,825,555	1,286,557,549	△ 24,731,994
一般正味財産期末残高	1,255,892,674	1,261,825,555	△ 5,932,881
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
受取寄付金	10,000,000	10,000,000	0
一般正味財産への振替額	△ 11,000,000	△ 15,000,000	4,000,000
当期指定正味財産増減額	△ 1,000,000	△ 5,000,000	4,000,000
指定正味財産期首残高	36,160,000	41,160,000	△ 5,000,000
指定正味財産期末残高	35,160,000	36,160,000	△ 1,000,000
<b>III 正味財産期末残高</b>	1,291,052,674	1,297,985,555	△ 6,932,881

## 財務諸表に対する注記

### 1. 継続企業の前提に関する注記

貸借対照表日において、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況は存在しない。

### 2. 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却方法

建物・・・・・・・・定額法

建物附属設備・・・定率法

器具備品・・・・・・・・定率法

#### (2) リース取引の会計処理

リース取引は通常の賃貸借取引に準じた会計処理によっている。

#### (3) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、当年度末における退職給付要支給額を計上している。

#### (4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

### 3. 会計方針の変更

該当なし

### 4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土地	433,886,960	0	0	433,886,960
建物	320,037,992	0	12,365,013	307,672,979
建物附属設備	764,137	1,361,548	174,207	1,951,478
器具備品	1,041,946	1,050,368	482,480	1,609,834
賃貸住宅維持資産	155,451,828	0	0	155,451,828
定期預金	348,648,022	0	0	348,648,022
小計	1,259,830,885	2,411,916	13,021,700	1,249,221,101
特定資産				
碧峯奨学金資産	36,160,000	10,000,339	11,000,339	35,160,000
小計	36,160,000	10,000,339	11,000,339	35,160,000
合計	1,295,990,885	12,412,255	24,022,039	1,284,381,101

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する 額)
基本財産				
土地	433,886,960	0	433,886,960	0
建物	307,672,979	0	307,672,979	0
建物付属設備	1,951,478	0	1,951,478	0
器具備品	1,609,834	0	1,609,834	0
賃貸住宅維持資産	155,451,828	0	155,451,828	0
定期預金	348,648,022	0	348,648,022	0
小計	1,249,221,101	0	1,249,221,101	0
特定資産				
碧峯奨学金資産	35,160,000	35,160,000	0	0
小計	35,160,000	35,160,000	0	0
合計	1,284,381,101	35,160,000	1,249,221,101	0

6. 担保に供している資産

該当なし

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
土地	433,886,960	0	433,886,960
建物	548,250,039	240,577,060	307,672,979
建物付属設備	3,446,456	1,494,978	1,951,478
器具備品	4,245,080	2,635,246	1,609,834
合計	989,828,535	244,707,284	745,121,251

8. 保証債務等の偶発債務

該当なし

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当なし

10. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
指定された事業に対する支出による振替額	11,000,000
合計	11,000,000

11. リース取引関係

リース取引については、リース契約1件当たりのリース料総額が300万円未満のものだけであり、事業内容に照らして重要なものはないことから、詳細な注記は省略している。

12. 関連当事者との取引の内容

該当なし